

あいあいっうしん

№. 478

2018 (平成30)

2.7

編集 京都ライトハウス

あいあい教室

TEL : 075-462-4462

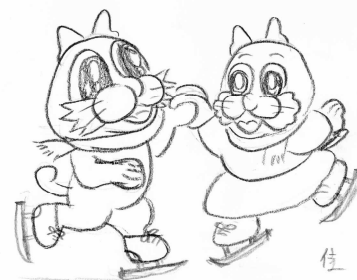
FAX : 075-462-4464

aiai@kyoto-lighthouse.or.jp

暦の上では春となり、日が落ちる時刻も少しずつ遅くなっているようですが、肌に触れる風はまだまだ冷たいですね。この時期になると、テレビからは大寒波のニュースが、あいあい教室からは「かந்தろ〜」と“北風小僧の寒太郎”を呼ぶ子どもたちの声が聞こえてきます。雪のちらつく日でも、子どもたちの元気な声を聞くと、しばし寒さを忘れることができます。

“ヒューン、ヒューン”と吹いてくる冷たい風を吹き飛ばすくらい元気に！そして、春に向かって一日一日を大切に…今月も子どもたちと楽しく過ごしたいと思います。

それでは、今月のっうしんをお届けします。



2月の予定

22日(木) 三者連絡会(17:00~盲学校・アイリス教室・あいあい)

27日(火) 洛陽保育園との交流(午前グループ/あいあい プレイルーム)

※引き続き、後期個別懇談を行います。

<研修関係>

3日(土)~4日(日) 第19回 全国視覚障害早期教育研究会
(浜松大会:古川・木村・谷口)

28日(水) 職員研修会(15:00~子どもの運動発達について)

<2017年度 卒園式>

3月25日(日) 第41回 卒園式(4階 あけぼのホール)

★★おたんじょうびおめでとう 2月うまれのおともだち★★

E さん

2歳になります

朝のあつまりで名前を呼ばれると、手をあげるようになってきたEちゃん。大好きな“おはようのうた”も、元気いっぱい！大きな声で張りきって歌っているね。歩く距離も伸びてきて、プレイルームの中をトコトコ歩いて嬉しそう！これからも、いっぱい遊んでEちゃんの世界を広げていこうね。

K さん

3歳になります

元気いっぱいのパワーと笑顔がすてきなKくん。今は通園をお休みしているけれど、最近では言葉がグンと増えて…お喋りを楽しんでいるようですね。伝わる喜び、楽しさで、Kくんの世界が大きく広がっていきますように。またあいあいで遊べる日を楽しみに、これからも応援しているよ！

R さん

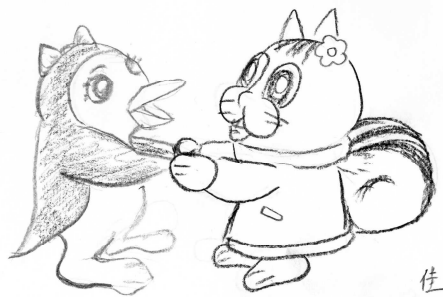
4歳になります

お友だちや先生を見つけて「アー！アー！」と嬉しそうに指さしをするRくん。大好きなすべり台では、ゴールにいるお友だちにタッチするのがお楽しみ♪遠足で初めて乗った市バスも、ニコニコの笑顔で楽しんでいたね。これからもRくんの“楽しい”気持ちがいっぱいの笑顔があふれますように。

S さん

5歳になります

元気なかけ声で“ぶたの丸焼き”をするSちゃん。たくさん練習をしてできるようになった鉄棒の得意技です♪ハサミを使うときは「Sちゃんできるで！」とやる気まんまん。画用紙を切り落としてバナナ味やメロン味のジュース作りをしたね。運動も工作も張りきって取り組むSちゃん、とってもかっこいいね。



1月

『あいあい療育風景』

冬休み明けの1月、水・木曜日と学童グループは、ライトハウス近くの今宮神社へ初詣に行きました。子どもたちは、家から持ってきた財布や硬貨をじっくり見て、触って、それから出発！“ガラングラン”と鈴緒すずおを鳴らして、どんな願いごとをしようかな…。神社では賽銭箱や絵馬、鳥居などたくさん触って楽しみましたよ。また、あいあい教室のプレイルームには“あいあい神社”を設置。鳥居に見立てたキラボール（鈴入りのビーズ編みボール）付きのビーズのれんをくぐると賽銭箱があり、キラキラのテープが巻かれた鈴緒すずおを鳴らしてお参りができます。賽銭箱の中には大きな缶を入れ、お金を入れたときに音が鳴るようにしたり、おみくじには異なる触感の素材を使っています。実際の神社では近くで見られない物や、大きくて全体が触れない物が自由に楽しめる“あいあい神社”。子どもたちはゆっくり見たり触ったり…くり返し嬉しそうに遊んでいました。



今宮神社でお参りする子どもたち



“あいあい神社”の鳥居とお賽銭箱

～年長児 お父さんからのメッセージ～

その18. H さんのお父さん

Hの障害がわかったのは産まれて2、3日後のことです。病院にいる妻から泣きながら頭の中で出血していると電話があり初めて知りました。そのときは頭が真っ白になりました。退院してからもどうしていいのかわからず、いくつかの病院を受診したりもしました。療育施設に通うようになり日々の生活にもだんだん慣れてきたころに今度は内斜視であることがわかり手術しました。そのころからあいあい教室に通うことになりました。自宅から遠いので大変だなとも思いましたが、妻からあいあい教室での様子などを聞き、初めは泣いてばかりだったそうですが、今では毎回はりきって頑張っているそうです。先生方がとても根気強く丁寧に対応して下さいているおかげだと思います。本当に感謝しています。

最近では車に乗ると「あいあいかけて～」とあいあいの曲をリクエストしてきます。言葉もまだ少ししか話せないのにこれははっきり言います（笑）。ゆっくりだけど、少しずつ成長している姿を見ると本当にうれしく思います。これからもHのペースで共に成長していけたらと思っています。本当にありがとうございました。

～年長児 お母さんからのメッセージ～

今年度も残すところあと2ヵ月。今月、来月は、卒園を迎える年長児のお母さん方からのメッセージをお届けします。今まで歩んできた道のり、卒園、そして新たな門出を迎えるにあたっての思いなど…本当にあたたかいメッセージを寄せて頂きました。お忙しい中、ありがとうございました。

その1. A さんのお母さん

Aの母です。Aは1歳からあいあい教室にお世話になり、あっという間に卒園の時期となりました。

通い始めは、視力がどれくらいでるのか、発達は大丈夫なのか、不安な毎日をお過ごしていたように思います。あいあい教室で同じクラスになった、Aより上のお友達を見て“Aも同じように成長できるのかな…”と、帰りの車で涙することもありました。そんな中、同じクラスのお母さん達と同じ悩みを共有でき、話をする時間が私にとってすごく力になりました。また、私が気付かないことや、適切なアドバイスを下さった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、Aがこんなに成長するとは正直、思っていませんでした。色んなことに興味を持ち、自信を持って行動出来るようになったのも、あいあい教室に出会えたおかげだと思います。ありがとうございました。

その2. M さんのお母さん

Mの母です。早いもので卒園まで残り3ヵ月となりました。産まれてすぐ先天性の目の障害があるとわかった時、現在のように笑って過ごせる日が来るとは思っていませんでした。

けれどあいあいに通園するようになり、同じような悩みを持つお母さん達に出会い、Mにとってどうしてあげれば見やすいのか、落ち着いて行動出来るのか、私だけでは解決出来る問題ではない事を先生方は一所懸命に考えて下さり良い方法

に導いてくださいました。本当に私達親子が笑って過ごせているのはあひあひの仲間達のおかげでもあります。

4月から1年生になり、楽しい事も辛い事も沢山経験すると思います。Mなりのペースで成長し、学校生活を楽しんで行ってもらいたいと思います。これからもどうぞよろしくお願ひします。

その3. C さんのお母さん

「あした、“あひあひ”の日？」といつも笑顔で聞いてくる娘。

“あひあひ教室”との出会いに感謝したことが何度あるか分かりません。「もっと早く通っていたら園生活もより楽しいものになっていたのかな」と、悔やみさえします。

ロービジョンの娘があひあひ教室に通いだしたのは、年長になる時でした。それ以前の私は、娘の状況を受け止めて強くありたいと自分の出来ることを試行錯誤していたものの、漠然とした“もやもや”が常に心の中にありました。その“もやもや”の正体は、治ることがない疾患への失望、戸惑いだした娘への心配、将来の見通しが立たない不安、それらを誰かと共有することが出来ず自分が正しいか分からない事への苛立ちから来ていたものだと思います。

あひあひ教室に通いはじめて先生方にご指導を頂き相談させて頂いたことで、少しずつ胸のつかえが取れて、それと同時に娘も生き生きとしてきました。私自身が、Cの状態をあまり理解できていなかったことを痛感しました。成長とともに課題は次々と出てきていますが、前向きに向き合うことが出来ているのはあひあひ教室に出会えたからです。

卒園の話になると、「イヤだ〜！」と娘が悲しみますが、私も本当に寂しいです。頼りになるあひあひの先生方、頑張り屋で可愛いお友達、子どもに対して愛情たっぷりのお母さん方、そしてそれらを繋いでくれたCに出会えた事すべてに感謝しています。

その4. N さんのお母さん

Nちゃんは超低体重出生児で生まれ肢体不自由児です。小さい頃は身体のことに関心が目立っていましたが、斜視が目立ってきたり弱視傾向だったり、物の見方に配慮が必要なことを少しずつ教えていただきました。あひあひに出会えてなければ、目のことは見過ごしていたと思います。

あいあいの出会いはママ友から教えてもらい、ひよこクラブからスタート。ほとんど離れることがない親子だったため、療育が始まってからも部屋の隅から見守っていました。母部屋へ行けるようになってからも、お母さ〜んと泣いて来ていました。今でもお母さんにくっついていたいタイプですが、お母さんと離れて先生やお友達と楽しく遊べるようになり、そのお陰で幼稚園にも行けるようになりました。泣いてばかりいるNちゃんを見て将来が不安だった頃がウソのようです。

あいあいでは他ではできない体験をさせてもらい、できることを増やしてもらい、自分らしさを出せるようになりました。親子共に成長させていただいたことに感謝し、いつでも遊びに来られる場所として、これからも宜しく願います。

その5. Fさんのお母さん

「この子は一生目が見えません」

そう宣告されたのは生後2カ月の時でした。目が見えなくてこの子の先の人生は楽しいのだろうか、産まれてきたのに幸せにしてあげられるのだろうか…目の見えない我が子をどのように育てていけばいいのだろうか…、と考えれば考える程、不安と絶望感しかありませんでした。

無気力、無感情状態でFのお世話をする日々。そんなある日、私に向かってFが微笑みました。勝手に不幸せな子と決めつけてた自分が恥ずかしくなりました。Fが大きくなった時「産まれてきて幸せ」って思ってもらえるのを目標に、頑張っていこうと思いました。

それから少しでも情報がないかと、インターネットで情報探しの日々。そして「あいあい教室」の存在を知りました。全国でも数少ない視覚支援の療育の場が隣の県にあったのはラッキーでした。見学に行かせてもらい、色々な不安な気持ちにも寄り添って頂いたり、質問に対してもサラッと的確にアドバイスして頂き本当に頼もしい施設だと思いました。通園をさせて頂くようになり、目から鱗状態の事がいっぱいで大変勉強になりました。

Fも色々な経験をさせてもらったり、何十回、何百回も…と根気強く向き合って指導して頂いたおかげで出来る事も増え、Fペースではありますが成長させて頂き感謝しかありません。また、私自身も母部屋での時間が癒しで、ママさん達と話す事で「また明日から頑張ろう！」と元気をもらい、私にとっても心の療育の場でした。

今、気づけば親子揃って笑ってる毎日です。もう卒園…って思うととても寂しいですが、今まで教えて頂いた事を胸に、この先親子楽しく進んでいきたいと思えます。ありがとうございました。

その6. U さんのお母さん

あいあい教室に通い始めた時は兵庫に住んでいて、大泣きするUを連れて高速で遥々毎週通っていました。視覚障害の療育をしっかりと受けたいという思いからUの環境を考え思いきって家族で京都に引っ越す決意をし、今は京都に住んでいます。赤ちゃんの頃からベビーマッサージに通ったりお友達と出かけたりアクティブに過ごしていましたが、全盲である事を受け入れるにあたって世の中は見ても楽しむ事ばかり溢れていて、目が見えないなんて人生をどう楽しんでいけるのかなと悩んだ時期もありました。そんな時主人が、「そうかな？別に楽しめる事は沢山あると思うけど？」と、サラッと行った事を今でも強く覚えています。あの言葉がずっと心の支えになり、そしてあの言葉通りUは見えなくても色々な事を楽しんでくれる子に成長しました。幼稚園でも色々な事を楽しみ、今はオシャレが大好きです。目が見えなくてもオシャレを楽しんで欲しい、お洋服が人と話すきっかけになればと、手で触ってわかるリボンやフリルのお洋服を色やデザインなど毎日説明しながら着せていたら、今日はこのお洋服が着たい！上はピンクで下は水色の花柄！と自分でコーディネートするまでになりました。可愛いお洋服を嬉しそうに着る姿はとてもキラキラしています。

6歳になった今、Uは私が想像していたより遥かに豊かな人生を歩んでくれています。大変な事も多いけれど楽しめる事も沢山ある。子育てに悩み辛かった時期の私に「大丈夫だよ」と、声を掛けてあげたいくらいです。そしてこれまで共に寄り添って下さったあいあい教室の先生方には心より感謝申し上げます。

その7. W さんのお母さん

あいあいと出会ってから6年が経ち、通い始めた当時のことを懐かしく思い返しています。最初の半年は毎回泣いてばかりで、ずっと先生に抱っこされていました。お集まりにも参加できない期間が長く続き、何も出来ないと思うことが多かったです。全盲で重度難聴のWにとっては、泣くことでしか不安を表せなかったのだと思います。

先生方は、Wにとってあいあいを安心できる場所にするために、丁寧に関わってくださり、少しずつ体験を積み重ねることで、気がつけばあいあいで楽しく過ごすことができるようになっていました。

今では手を繋いで笑顔で登園し、やりたいことを精一杯のサインで伝えようとしてくれています。6年前には想像できなかった姿です。

4月からの新しい生活に、喜びより不安が沢山ありますが、あいあいで過ごした6年のように、一歩ずつ積み重ねていけばきっと、Wなりの成長があると信じています。この6年で出会えた先生方、お母さんたち、皆様本当にありがとうございました。

その8. Jさんのお母さん

お世話になっております。J(全盲)の母です。あいあい教室に通園し始めて4年、もう卒園と言う所まで来てしまいました。

Jが小さな頃は、教室のお友達の泣き声にビックリして泣く、大きな音にビックリして泣く。ビックリ泣きの様な事が多かった思い出があります。よく泣く我が子を見て、泣きに来てるのかと思うくらいでした。今となっては、なんのその！あいあい教室が楽しみの1つになっているのです。

その他は、好き嫌いは少ないのに給食の時間になると、激しくストライキ…なんでなん？とっていました。その謎は謎のままですが、今では給食の時間に椅子に座り、スプーンやフォークを持ち自分で食べているのです。

色々な物事に対して、《あたり前の事を、あたり前に出来ない》そんな我が子の気持ちをくみ取りながらも、愛情を持ち、少しずつ成長できる様に、辛抱強くご指導頂き本当に感謝しております。

そして、私自身も沢山の母さん方との出会いに、精神的に支えられてきました。あいあい教室での沢山の思い出と経験を糧に卒園し、親子共に胸を張り、次に進んで行きたいと思っています。本当にありがとうございました。

あとがき

毎年この時期になると、カンザキハナナが満開になる琵琶湖沿いの公園へ。雪化粧をした比良山に大きな湖、そして一面の黄色。なによりも乾いた冬の風が運んでくる菜の花の香に心がすっとします。ちなみに夏はヒマワリ畑になるこの公園。インスタ映え間違いなし！ 谷口 由佳

編集人 古川 千鶴 〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町11 社会福祉法人 京都ライトハウス 視覚支援 あいあい教室 Tel:075-462-4462